

編集後記

本年報は、われわれのこの1年間の研究活動の成果である。

今年度のテーマタイトルは「グローバリゼーションとスポーツの変容」とした。われわれはグローバリゼーションをキーワードとして長年にわたって共同研究を行ってきたが、今回もオーストラリア、アイルランド、国際スポーツ運動、ツーリズムをテーマとした研究成果を掲載している。

こうしたスポーツ科学研究室を基盤とする共同研究は、ひとつの時代の区切りを迎えている。上野卓郎名誉教授が今年3月に定年退職されたが、ここ数年の間でスポーツ科学研究室のスタッフの世代交代が進んでいる。退職された先生方との研究上のつながりは今後とも継続していくことになるが、同時に、新たなメンバーを迎え、これまでの研究蓄積を生かしながら新たな展開を図っていくことを目指していきたい。

今回のゲスト研究会は、高岡裕之関西学院大学教授に報告をお願いした。招聘の直接の契機は、研究室スタッフである坂上氏との共編著『幻の東京オリンピックとその時代—戦時期のスポーツ・都市・身体』（青弓社）の出版であった。あわせて、先生は、以前から歴史学の視点から地域の体育・スポーツを対象とする研究成果を公にされていたことも大きな理由であった。ゲスト研究会当日は、例年以上の多くの参加者を得て活発な議論が交わされ、本年報に掲載されているように、われわれのスポーツ研究にとって示唆に富む内容であった。ご多忙の中、掲載原稿の校正作業にご協力をいただいた高岡先生にはあらためて感謝申し上げたい。

月例研究会で大学院生の発表を1、2回程度組み込むという研究部方針があったものの今回は報告は行われなかったが、今後とも、大学院生の成果発表の機会として活用していきたい。

これまでと同様、渡辺助手と関根助手による定例研究会の実施や編集実務をはじめとする有形無形のサポートによって、ここに今年度の研究年報の完成を見た。記して謝意を表したい。

本年報は、文部科学省科学研究費「スポーツのグローバル化とコミュニティにおけるスポーツの変容に関する研究」（研究代表者：尾崎正峰、課題番号：20500538）の研究成果の一部である。
(研究部長・尾崎 正峰)

一橋大学 スポーツ 研究

Vol.29

グローバリゼーションとスポーツの変容

2010年10月1日 発行

編集・発行 一橋大学スポーツ科学研究室

〒186-8601 東京都国立市中2-1

TEL 042-580-8270

www.rdche.hit-u.ac.jp/~sports/
